

- ① 日時 令和6年3月10日(日)13時30分～16時
- ② 場所 オンライン開催(Webex Meetアプリ利用)
- ③ 参加者 各都道府県1名, 全商協会本部役員および専門委員(78名)

13時30分～開会式

13時40分～

■ 商業教育の現状・課題(田中圭調査官)

- ・ デジタル技術の発達によって、高校教育が大きく変わろうとしている。これまでは、知識・技術を身に付ける教育であったが、ChatGTPやタブレット端末がいつでもどこでも使えるような教育環境があれば生徒は授業でなくても自分で知識・技術を学ぶことができる。今後恐らく全国的に優秀な先生の授業を録画しておいて、いつでも見られるようなことになれば、先生方の授業は今度どのように変わっていくのか。知識・技術を習得させるTeachingから、知識・技術を活用することを支援する Coachingへと教育が変わっていくのではないか。支援したり助言したり共同的な学びをコーディネートしたりする授業が中心になってくる。採用試験でも変化があるのではないか。これまでは、専門性の高い方が評価が高かったが、これからは生徒にどれだけ寄り添えるか、生徒とともに学ぼうとしている姿勢の先生が採用されるのではないか。先生方もそういう資質や能力を身に付けてほしい。
- ・ 進路状況 事務職への就職30%～40% 事務職の割合が少ないのに、会計分野やビジネス情報分野の科目を多く履修させている学校は、教育課程を見直す必要がある。販売サービスや生産工程への就職割合が多い学校は、マーケティング分野やマネジメント分野の科目を履修させる必要がある。生徒の進路先と身に付けさせなければならない資質や能力がずれてはいけいない。

14時10分～

■ 議事

1. 令和5年度 情報処理検定試験実施報告

(1)情報処理検定試験全般について

- ・実技試験で office365 と Excel2021 を使用した学校の割合が約10%であった。これからもこのソフトウェアを使用する学校の割合が増えると考えられる。

(2)ビジネス情報部門1級・2級・共通3級

- ・1級は、得点が60点台の人数が一番多く、後10点程度で合格できるところまで学習が達している。特に関数の理解を指導してほしい。
- ・2級と3級は、70点台の人数が一番多く、学習がしっかりできている。ただし、筆記と実技のバランスが少しとれていない。筆記は基本的なところからしっかりと学習させてほしい。
- ・今後も学習成果を図れるような検定試験として取り組んでいきたい。

(3)プログラミング部門1級・2級

- ・受験者数は1級は9.3%増加、2級は4.4%減少で、全体として2.1%の増加である。
- ・2級の合格率は66.8%であり、昨年度より増加。受験者はプログラミング的思考が身に付いてきている。
- ・1級の合格率は25.7%。昨年より低下したので、今後も安定した合格率となるように作問を心がけていきたい。
- ・言語学習は、ExcelVBAが7割を超え、Javaの利用者は昨年度より減少している。その他の言語の割合も増えており、流れ図においては汎用性の高い問題となるように配慮したい。

2. 令和6年度以降の情報処理検定について

- ・情報処理検定の改編について

○主な内容

公益財団法人全国商業高等学校協会課題検討委員会から令和5年3月18日に「社会全体のデジタル

化・オンライン化、DXの進展に対応した検定試験の在り方について」に基づき次のように改編する。

- ・「情報処理」は「情報Ⅰ」の代替科目であるため、入門級で内容の整合を図る出題をする。
- ・学習指導要領の範囲内で、情報社会の変化や進歩に応じた作問を検討する。
- ・学習指導要領の体系と検定試験の体系との整合を図り、各科目目標の達成度を測るようにする。

#### ○改編の概要

- ・試験範囲は原則として科目ごとに定め、令和8年度から順次移行する。
- ・合格証書は、1科目合格で3級、2科目合格で2級、3科目以上合格で1級とする。ただし、1級は「情報基礎」を含むものとする。

#### ○検定科目

検定試験科目	学習指導要領における科目	出題内容
情報基礎	情報処理	「情報処理」で学習する内容のうち、「情報Ⅰ」と共通する内容
情報処理	情報処理	「情報処理」で学習する内容（「情報基礎」で扱う範囲の応用も含む） ※実技試験も行う。
ソフトウェア活用	ソフトウェア活用	「ソフトウェア活用」で学習する内容
プログラミング	プログラミング	「プログラミング」で学習する内容
ネットワーク	ネットワーク活用 ネットワーク管理	「ネットワーク活用」、「ネットワーク管理」で共通して学習する内

#### ○移行スケジュール

令和7年3月・・・「情報基礎」「情報処理」のサンプル問題公表

令和8年3月・・・サンプル問題に対する意見を令和7年度に収集し、それに対する対応を公表

令和8年9月・・・順次新検定へ移行

#### ○令和6年度から変わる表記

- ・情報処理検定ビジネス情報部門1級→情報処理検定ビジネス情報1級
- ・デジタル → デジタル

#### 3.その他 15時～

##### (1)情報処理競技大会について

- ・令和5年度の成績平均点は189点
- ・個人成績 優良賞のうち2年生3名 佳良賞まで含めると2年生8名  
Ⅰ部(関連用語とデータベース)平均点は下がった。
- ・令和6年度大会は7月14日千葉商科大学で開催 例年より一週間くらい早くなり、参加申込期日も6月19日となる。それまでに各都道府県で代表を選考できますようお願いいたします。

##### (2)プログラミングコンテストについて

9校から15作品の応募があり、香川県立坂出商業高等学校が最優秀賞。ドキュメントの表現力に長けていた。令和6年度のコンテストは例年通り。

##### (3)事務局より

- ・新全商Webシステム 受験料は全額全商に振り込まれる。実費経費は申請してからの支払い。間に合わない場合は立て替えになる。
- ・CBT 令和6年度に簿記3級、ビジネスコミュニケーション検定で試行試験実施
- ・検定試験の信用を大きく損ねる事案が複数発生している。多くの事案は担当者が一人に対応していることから発生している。必ず複数で確認しながら、業務を進めてほしい。
- ・昨年度より受験者が6万人減少している。今後収支がマイナスになるなど、財政状況がより厳しくなることが考えられるので、検定受験料の値上げを検討している。